

「群馬の中学生 4技能スキルアップ事業」に向けた取組

太田市立旭中学校

◇スキルアップ事業に係る 研究主題

積極的に英語で考え、4技能を活用しながら英語で表現する力を伸ばす英語指導の研究

～英語学習を通じて豊かな心を育み相手を理解しようとする

コミュニケーション力を育てる工夫～

1 英語科における最終到達目標（目指す生徒像）

研究主題を受け、英語科における目指す生徒像を設定した。

相手意識をもち、やり取りをしながら自分の考えや意見を理由を付け加えて話したり、語るように発表（プレゼンテーション）したりすることができる生徒

2 旭中学校英語科授業の指導方法の基本的な考え方

○英語によるコミュニケーションでの考え方を働かせる。

- ・導入は本は閉じて音声・絵カードや映像資料のみでインタラクションを行う。
- ・目的のある活動とする。
- ・場面、状況の中での活用と文構造指導を行う。
- ・生徒の必要感のある場面設定をする。
- ・グループやペアなど協働性のある授業とする。

○教科書本文は、内容を推測し・把握できることから始める。

- ・読んだら感想を聞く。その話題でやり取りをする等の工夫をする。
- ・概略をつかませ、話の続きをつくるなど協働的な活動を取り入れる。

○帯活動では間違いを恐れず、英語を駆使する即興性を育成する。

○相手に伝わるように、ゆっくりとはっきりと話すように指導する。

○スピーキングからライティングへつなげる指導。ライティングした内容を読み、意見を交換する活動等へつなげること。

○マッピングからスピーチへ。自分の思ったことや考えたことを話し、聞いた者は質問ができるように1年生から系統立てて指導する。

○生徒の発言に対し、かならず feedback や言い換えを繰り返す。

3 3カ年指導計画

○1年次（平成30年度）

- ・週1回の英語推進委員会の実施、情報交換（言語活動のお互いの活用）
- ・1～3学年の到達目標や指導内容の確認
- ・各学年の授業改善と英語教育強化地域拠点事業での研究を土台とした指導法の向上
- ・校内英語掲示物など環境整備
- ・帯活動の取組
- ・学習形態の工夫と充実（ペア・グループ等）
- ・英語での授業運営
- ・英語での紹介活動の工夫
- ・授業公開「1学年」

○2年次（平成31年度）

- ・週1回の英語推進委員会の実施、情報交換（言語活動のお互いの活用）
- ・1～3学年の到達目標や指導内容の確認・同一の取組
- ・発表活動の実践（グループでの発表、学年での発表等を単元構想に）
- ・言語活動中心の授業スタイルの確立
- ・授業公開「複数学年」
- ・英語での授業運営
- ・校内英語掲示物など環境整備

○3年次（平成32年度）

- ・週1回の英語推進委員会の実施、情報交換（言語活動のお互いの活用）
- ・1～3学年の指導内容、指導方法の確認及び同一の取組
- ・生徒の言語活動中心の授業スタイルの充実
- ・文章の要旨を素早く把握する学習の取組
- ・プレゼンテーション実践（教室やホール等）
- ・授業公開「全学年公開」

4 3学年共通取組

- ・ 帯活動
- ・ リフレクションシート
- ・ パフォーマンス評価 (チャレンジタイム)
- ・ ペア活動 グループ活動
- ・ Small Talk から interaction へのつながり
- ・ マッピングの活用
- ・ 文法シラバスから音声シラバスへ
- ・ 4技能統合型授業・・・同一單元の中で4技能を関連させた授業づくりを行うが、年間を通し、4技能をバランスよく活用する授業を行う。
- ・ 相手意識 (話し手、聞き手) を育てる取組

5 小中連携の取組 (H30年度)

- ・ 音声重視・・・「話す」から「書く」へ
- ・ 共通した指導法・・・中1での小学校 (特に6年生) の指導法の取り入れ
小学校の内容を受け止めた指導法
(小学校6年に中1担当が乗り入れ指導)
- ・ 小学校より月2回市の英語教育アドバイザー教員(EAT)が訪問

6 その他

- ・ 全ての教科、道徳等において自分と違う意見を認める指導を行う。
- ・ 全ての教科、道徳等において協働して学ぶ集団をつくる指導を行う。
- ・ 全ての教科、道徳等において聞き手を育てる指導をする。